

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	再生可能エネルギー活用計画推進事業			
■評価事業コード	030200 - 131	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	地域に賦存する再生可能エネルギーを積極的に活用し、低炭素で災害に強いまちが実現していること。住民が地球環境や地域環境に負荷をかけない暮らし方を実践していること。低炭素社会の実現を目指し、地域に賦存する再生可能エネルギーの積極的な活用と省エネルギーの推進を両軸にした地球温暖化防止の方策を定め推進するために、再生可能エネルギー活用推進計画を策定するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	再生可能エネルギー活用計画推進事業	市民		計画策定検討、庁議決定、業者選定プロポーザルコンペ実施、業者との契約締結、基礎調査詳細検討、過去の施策整理、賦存量調査、市民アンケート(1,000人)、高校生アンケート(市内4校2学年)、事業者アンケート(300社)、地域ヒアリング(5か所)、連携可能性ヒアリング(2回)、再エネ活用推進委員会(1回)、庁内策定委員会(1回)
02	再生可能エネルギー活用計画推進事業	市民、企業、事業所		

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費				103	
人件費				2,799	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				2,902	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標 コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	再生可能エネルギー活用計画推進事業					賦存量調査、市民・高校生・事業者アンケートの実施、地域ヒアリング、連携可能性ヒアリング、再エネ活用推進委員会(1回)、庁内策定委員会(1回)
						低炭素社会の実現を目指し、地域に賦存する再生可能エネルギーの積極的な活用と省エネルギーの推進を両軸にした地球温暖化防止の方策を定め推進するために、再生可能エネルギー活用推進計画を策定するもの

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

☒ A. 順調

☐ B. 概ね順調

☐ C. 遅れている

達成状況の分析

順調に実施できている。

問題点・課題等

平成25年8月中の策定を予定しているがスケジュールが非常にタイト。

1. 直接的な受益者の範囲

☒ 不特定多数に及ぶ

☐ 特定されるが多数に及ぶ

☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

☒ 大きな不利益やリスクが生じる

☐ ある程度の不利益やリスクが生じる

☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

☐ 類似の事業はない

☒ 類似の事業はあるが競合はない

☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

☒ ニーズが高まっている

☐ ニーズは変わらない

☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

☐ 順位が高い

☒ 順位が中程度

☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

☐ 順位が高い

☐ 順位が中程度

☒ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

☐ 先進的またはユニークな事業である

☒ 他と同程度の事業である

☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

☒ 民間委託等の拡充は難しい

☐ 民間委託等の拡充が十分に可能

☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

☐ 今以上の効率化や改善は難しい

☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能

☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

☐ I. 拡充

☒ II. 継続

☐ III. 縮小・要改善

☐ IV. 民間活用・協働事業化

☐ V. 廃止・休止

☐ VI. 完了

補足説明